

Z50J BACK STEP KIT(DISK TYPE) 取扱説明書

商品番号 : 09-10-2432
 適応車種 : モンキー・ゴリラ
 フレーム番号: Z50J-130001 ~

この度は、タケガワ製品を、お買い上げ戴きまして有り難うございます。

このバックステップキットは、ストリートユースを、前提に、キックペダル及びストップランプスイッチの使用が可能となっています。又、ホルダー部、及びペダル類は、ジュラルミン材を使用しマシニングセンターより削り出しアルマイト処理を施しています。ライディングポジションにおいても、レース用としても使用出来る用設計しております。ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みになってご理解した上ご使用下さいませお願い致します。

☆正しく安全にご使用して戴くために必ずお読み下さい☆

⚠ 注意

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ブレーキフルードは、なるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行ってください。（手荒れの原因となります。）
- ブレーキフルードは、塗装面・樹脂部品・ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いを行ってください。（部品の損傷・劣化の原因となります。）

⚠ 警告

この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品の取り付けには、加工を伴います。加工作業をする際は、目、顔、手を、必ず保護して作業を行ってください。（目にキリコ等が入ると失明の恐れがあります）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶつたりすると、窒息の恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合は、ブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ブレーキの取り付け作業については、熟練したメカニックに依頼し専用の設備・工具のある工場等で行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

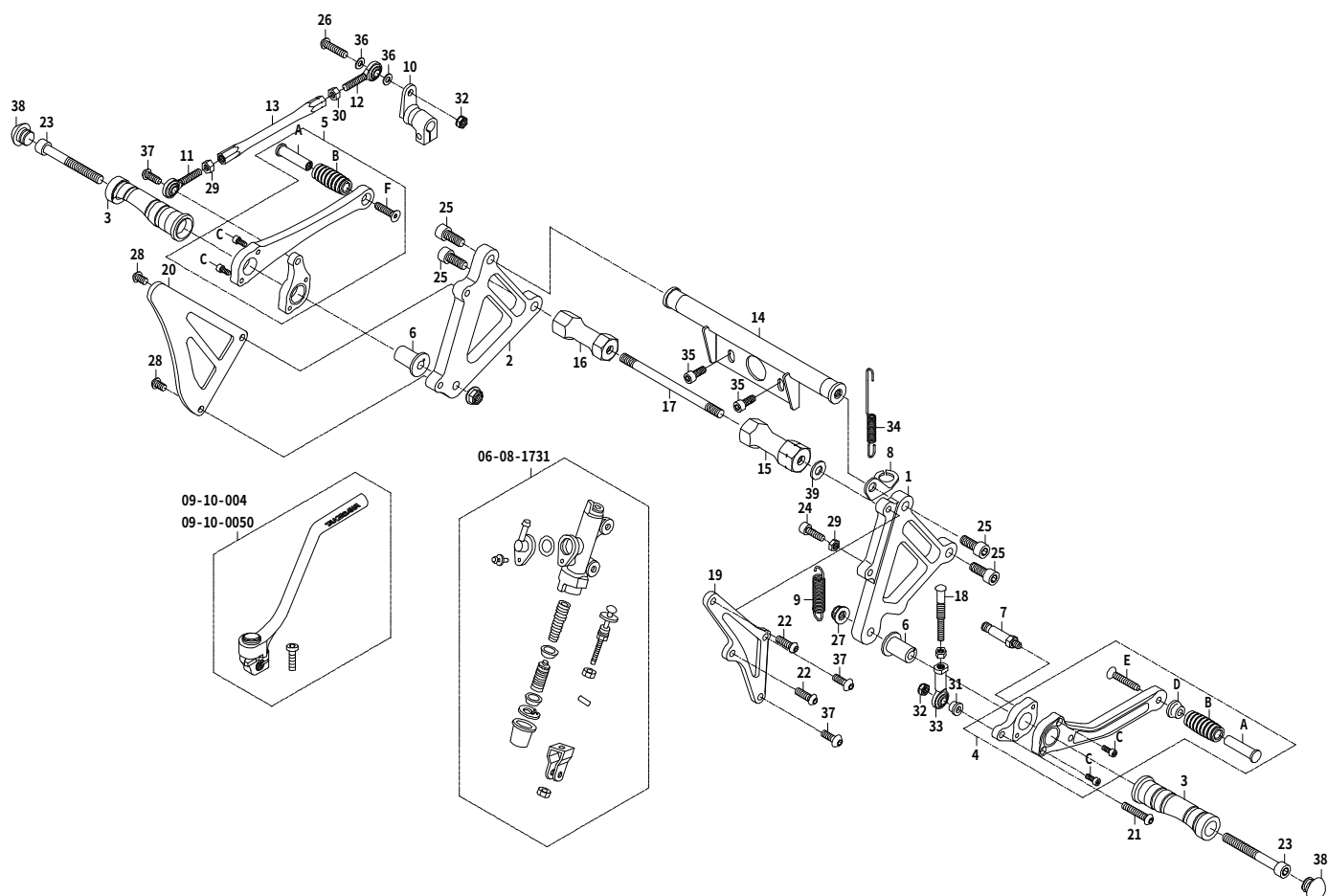
★ここに示した注意事項は、製品を正しくお使い戴き、貴方や他の人々への危険や損害を防止するためのものです。誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、示しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎クレームについては、商品の材料及び加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させていただきます。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合又は、性能の場合はこの限りではありません。
- ◎補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は、その賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎他社製品とのマッチングのお問い合わせは、ご遠慮下さい。

-- 注 意 事 項 --

- ◎06-08-172/06-08-174のリヤディスクキットからステップをこのキットに変更する場合は、その他の部品は必要ありません。
- ◎マスターシリンダー及びディスクブレーキ等、当社製品以外のパーツを使用する場合は、ブレーキホース等はユーザー側で製作が必要な場合もあります。
- ◎ジュラルミンサイドスタンド09-12-05/09-12-08は使用出来ません。
- ◎トルクロッドブラケットは当社製品以外の物は使用出来るかはわかりません。

- ◎このキットは当社製ロングスイングアーム取付車両が前提となります。
- ◎このキットは10インチにインチアップしている車両が前提となります。
- ◎ストリートでご使用の場合は09-12-035のサイドスタンドキットをご使用下さい。
- ◎09-10-004/09-10-0050のキックスターターアームが必要になります。



番号	商品内容	数量	番号	商品内容	数量
1	ブレーキホルダー	1	25	ソケットキャップスクリュー 8 X 20	4
2	チェンジホルダー	1	26	ボタンヘッドスクリュー 6 X 25	1
3	フットレスト	2	27	フランジロックナット 8mm	2
4	ブレーキペダルCOMP.	1	28	ボタンヘッドスクリュー 6 X 12	2
5	チェンジペダルCOMP.	1	29	ロックナット 6mm	3
6	ペダルカラー	2	30	ロックナット 6mm L	1
7	スプリングバック	1	31	カラー	1
8	ストップスイッチステー	1	32	ロックナット 6mm	2
9	リターンスプリング	1	33	ロッドエンド SFR1-6	1
10	チェンジアーム	1	34	ストップスイッチスプリング	1
11	ロッドエンド SMR1-6	1	35	フランジソケットキャップスクリュー 6 X 16	2
12	ロッドエンド SMR1-6 L	1	36	プレーンワッシャ 6mm	3
13	チェンジロッド	1	37	ボタンヘッドスクリュー 6 X 15	3
14	ホルダーステー	1	38	フットレストエンド	2
15	マウントナット (マーク入り)	1	39	プレーンワッシャ 8mm	1
16	マウントナット	1		L型レンチ 4mm	1
17	マウントシャフト	1		L型レンチ 5mm	1
18	プッシュロッド	1		L型レンチ 6mm	1
19	マスターシリンダーブラケット	1	A	ペダル	2
20	ヒールガード L	1	B	ペダルラバー	2
21	ボタンヘッドスクリュー 6 X 30	1	C	ソケットキャップスクリュー 4 X 12 (SUS)	4
22	ボタンヘッドスクリュー 6 X 20	2	D	ペダルカラー	1
23	ソケットキャップスクリュー 8 X 60	2	E	フラッドヘッドスクリュー 6 X 30	1
24	ソケットキャップスクリュー 6 X 15	1	F	フラッドヘッドスクリュー 6 X 25	1

○SET 内容を、ご確認下さい。

⚠ 注意：作業に適した工具を用意する事。

⚠ 注意：エンジン及びマフラーが冷えているのを確認すること。

⚠ 警告：水平な場所で車両を安定させること。

○左クランクケースカバーの3本のボルトを外し、左クランクケースカバーを取り外します。



○取り外した左クランクケースカバーをマウントナットに干渉する部分をリューター等で干渉しない様、加工します。(加工後は、バリやカエリが無い様ヤスリ等でエッジ部を面取りして下さい。)

⚠ 警告：目、顔、手を必ず保護して作業を行うこと。

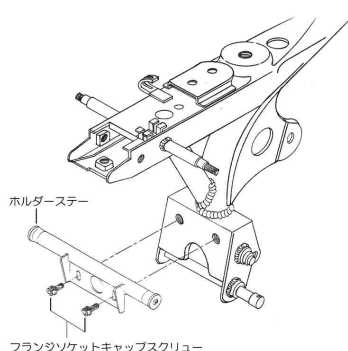
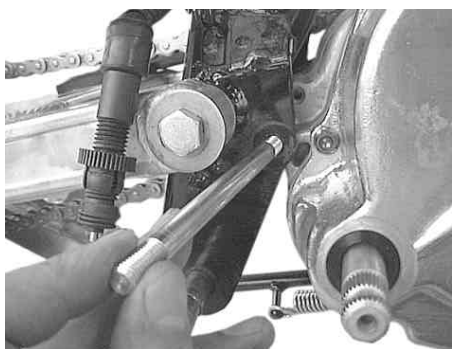
○左クランクケースカバーを取り付けます。

○STDブレーキペダルのブレーキロッドを止めているワリピン、ブレーキリターンスプリング、ストップスイッチスプリング、ブレーキペダルを止めているワリピンを、それぞれ外し、STDブレーキペダルを取り外します。

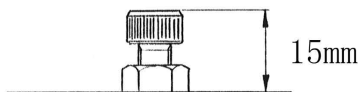
○STDステップバーを取り付けいる4本のボルトを外し、ステップバーを取り外します。

○リヤストップランプスイッチをフレームから取り外します。

○STDキックペダルを取り外します。



○フレームのリヤフェンダーが止まっていたタップ部にホルダーステーをフランジソケットキャップスクリューで仮締めします。



○ブレーキホルダー裏側のタップ部にソケットキャップスクリューと六角ナットを用いて、ソケットキャップスクリューの頭部が15mmの位置にセットしてロックナットを締め付けロックします。

(上部図参照)

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

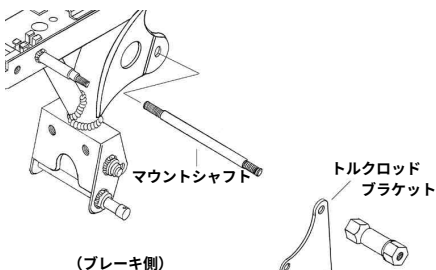


○ブレーキホルダーにマスターシリンダーブラケットをボタンヘッドスクリューを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

○エンジンマウント下部のマウントボルト 8 X 9 8 をキット内のマウントシャフトに交換します。



○交換したマウントシャフトにマウントナットを取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 25 \text{ N} \cdot \text{m} (2.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

○ブレーキ側：マウントシャフトにトルクロッドブラケット、マウントナット

(マーク入り)の順に取り付けます。

○チェンジ側：マウントシャフトにマウントナットを取り付けます。



○チェンジホルダーにヒールガード、Lをボタンヘッドスクリューを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



○ブレーキペダルCOMP.にペダルカラーを差し込みフットレストをペダルカラーの位置決めピンをフットレストを差し込みます。チェンジペダルCOMP.も同様にペダルカラー、フットレストを差し込みます。

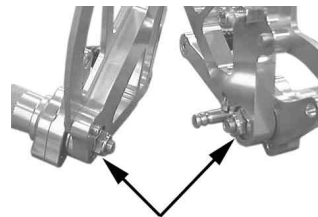
○ペダルカラーとフットレストは、はめ合い交差になっていますので、フットレストをペダルカラーに真っ直ぐ差し込んで下さい。



○ブレーキペダルCOMP.裏側のタップ部にスプリングフックを取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



○ブレーキホルダーに、ブレーキペダルCOMP.をソケットキャップスクリュー 8 X 6 0、フランジロックナットを用いて取り付け締め付けます。チェンジホルダーも同様に、チェンジペダルCOMP.ソケットキャップスクリュー 8 X 6 0、フランジロックナットを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 27 \text{ N} \cdot \text{m} (2.7 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

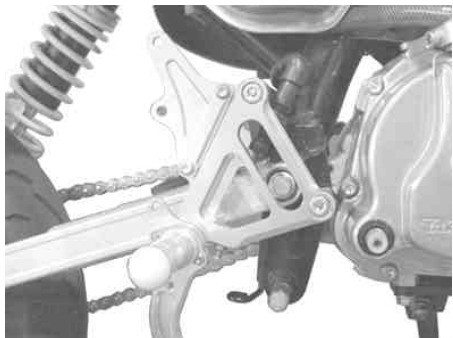


○キット内のフットレストエンドをプラスチックハンマー等を使用してフットレストに打ち込みます。

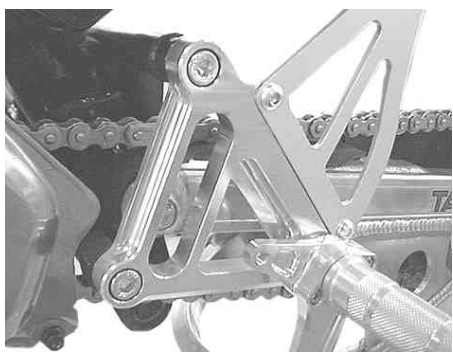


○ストップスイッチステーにリヤーストップランプスイッチを取り付けます。

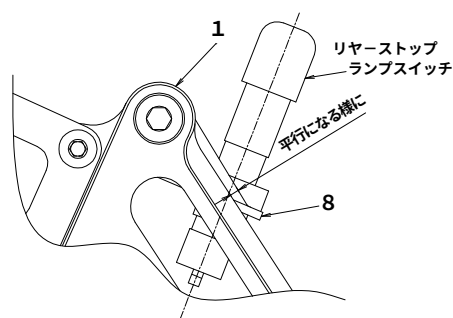
○フレームに取り付けた(15)マウントナット(マーク入り)部に(39)プレーンワッシャ8mmを(14)ホルダーステー部に(8)ストップスイッチをそれぞれ挟み込む様(1)ブレーキホルダーを(25)ソケットキャップスクリューを用いて仮付けします。



○フレームに取り付けたホルダーステーとブレーキホルダーとの間にストップスイッチステーを挟み込む様にしてブレーキホルダーをソケットキャップスクリュー8X20を用いて仮付けします。



○チェンジペダルホルダーも同様にソケットキャップスクリュー8X20を用いて仮付けします。



○(1)ブレーキホルダーと(14)ホルダーステーとの間に取り付けた(8)ストップスイッチステーを図の様に位置決めします。

○ブレーキホルダーとチェンジホルダーを位置決めし、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=23\text{ N}\cdot\text{m}(2.3\text{ kgf}\cdot\text{m})$



○ホルダーステーを取り付けているフランジソケットキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=14\text{ N}\cdot\text{m}(1.4\text{ kgf}\cdot\text{m})$



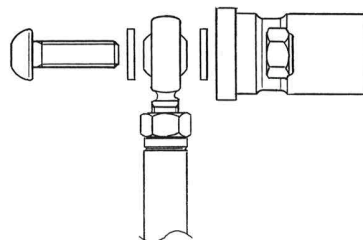
○キット内のチェンジアームを上向きに取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=12\text{ N}\cdot\text{m}(1.2\text{ kgf}\cdot\text{m})$



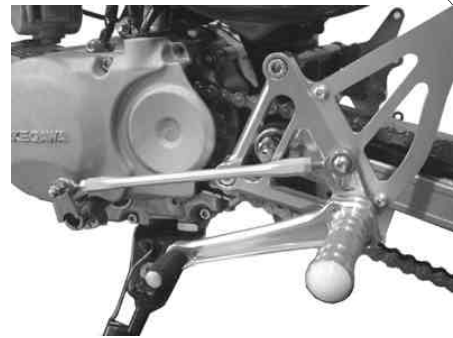
○キット内のロッドエンドSMR-6L(6mm左ネジ)にロックナット6mmL(左ネジ)をねじ込みチェンジロッドのマーク入り側に取り付け、反対側もロッドエンドSMR-6(正ネジ)と六角ナットを同じ様に取り付けます。

○ロッドエンド突き出し寸法を同じ長さにセットして下さい。



○仮組したロッドエンドをプレーンワッシャで挟み込む様にしてチェンジアームにボタンヘッドスクリュー、ロックナットを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=10\text{ N}\cdot\text{m}(1.0\text{ kgf}\cdot\text{m})$

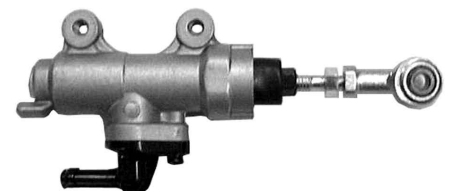


○反対側のロッドエンドもチェンジペダルCOMP.にボタンヘッドスクリューを用いて取り付け締め付けます。

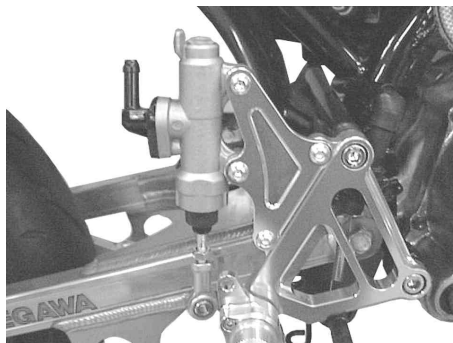
⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=10\text{ N}\cdot\text{m}(1.0\text{ kgf}\cdot\text{m})$

○チェンジロッドを回しチェンジペダルの位置を調整し、左正の六角ナットを締め付けロックします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=8\text{ N}\cdot\text{m}(0.8\text{ kgf}\cdot\text{m})$

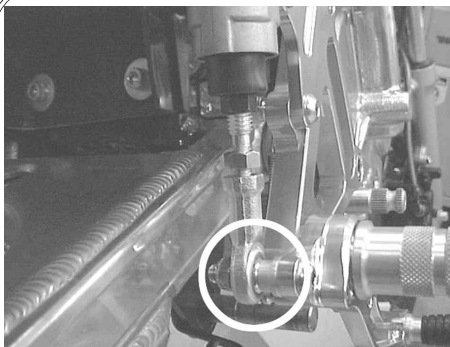


○マスターシリンダーCOMP.のロッド部に、六角ナット、ロッドエンドSFR1-6を仮付けします。



○マスターシリンダーCOMPをブレーキホルダーのマスターシリンダーブラケット部にボタンヘッドスクリューを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T=10\text{ N}\cdot\text{m}(1.0\text{ kgf}\cdot\text{m})$



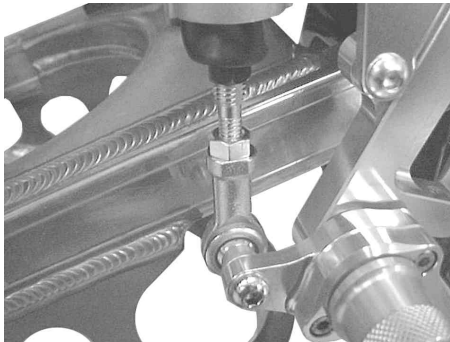
○マスターシリンダーに取り付けたロッドエンド SFR1-6 とブレーキペダル間にカラーを入れ、ボタンヘッドスクリュー 6 X 30 とロックナットを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



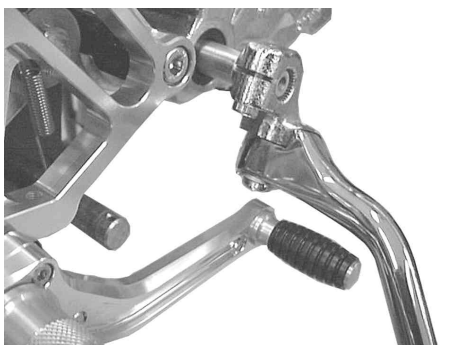
○キックスターターアームを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

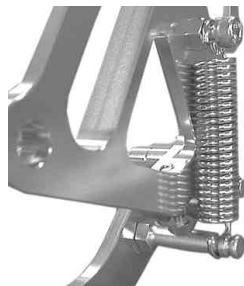


○マスターシリンダー COMP. のプッシュロッドを回転させブレーキペダルの位置を調整し、六角ナットを締め付けロックします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

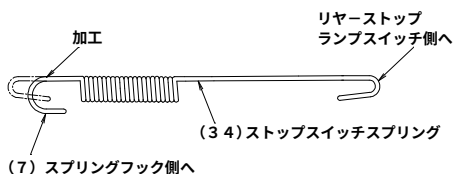


○この時キックスターターアームを踏み抜いた時に干渉しない位置に調整します。



○ブレーキホルダー裏側に取り付けたソケットキャップスクリューとブレーキペダル裏側に取り付けたスプリングフックの内側の溝に、リターンスプリングを取り付けます。

⚠ 注意：スプリングフック等の工具を用いて注意して作業をすること。



○(3 4) ストップスイッチスプリングを(4)ブレーキペダルに取り付けた(7)スプリングフックの外側の溝に合う様、図の様に加工します。

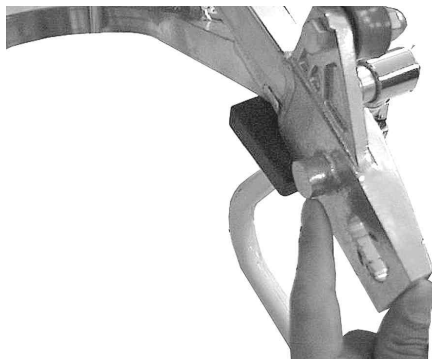
○ストップスイッチスプリングをストップスイッチステーに取り付けたリヤーストップスイッチに取り付けます。

○次にリヤードスクブレーキを取り付けます。

○メンテナンススタンド等を使用してリヤータイヤを浮かせます。

⚠ 警告：水平な場所で車両を安定させること。

○リヤークスルナットを取り外し、リヤークスルシャフトを取り、リヤホイール ASSY を取り外します。



○スイングアームが STD タイプ使用の車両は、アクスルホルダー部のパネルストッパーを切断します。

⚠ 警告：目、手、顔を必ず保護して作業を行う事。

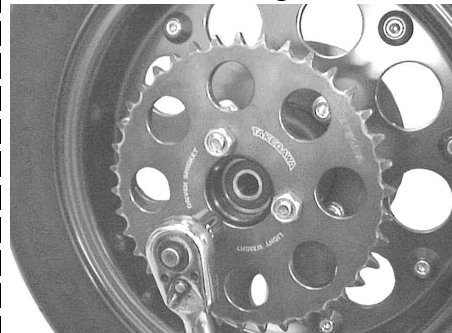
○当社製ディスク用アルミホイールにチューブとタイヤを取り付けます。

○進行方向の有るタイヤは方向に注意して取り付けて下さい。(エアバルブがチェーンライン側)



○リヤホイールにリヤハブ ASSY をホイールキット付属のフランジキャップスクリューを用いて取り付け締め付けます。(エアバルブがディスクローターと反対側になる様)

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 27 \text{ N} \cdot \text{m} (2.7 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

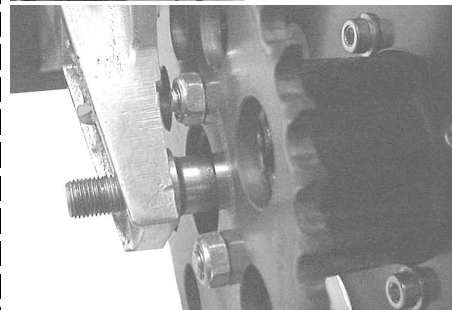
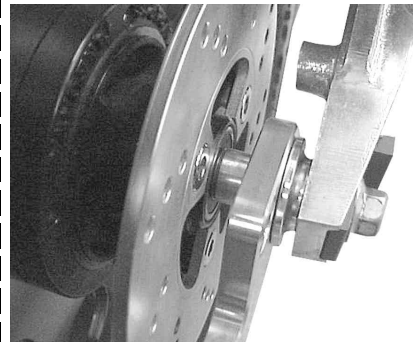


○リヤハブ ASSY にドリブンスプロケットを STD ナットを用いて取り付け締め付けます。

★12V 車両は、6V 用ドリブンスプロケットが必要となります。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。

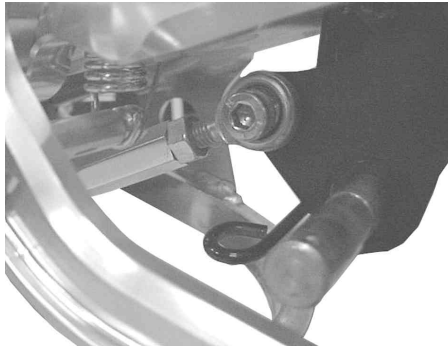
$T = 33 \sim 36 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(3.3 \sim 3.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



○リヤードスクローター側にキャリパーブラケット、スプロケット側に STD カラーを挟みスイングアームにリヤークスルシャフトを通し、取り付け仮付けします。(リヤークスルシャフトに薄くグリスを塗布して下さい。)

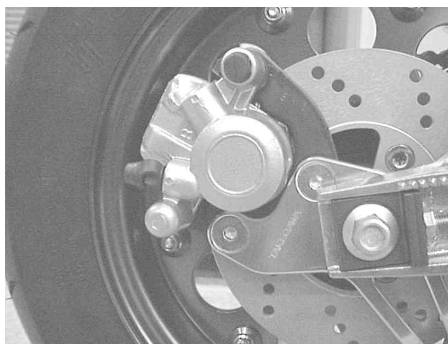


- キット内のロッドエンドSMR-8 L (8mm 左ネジ) に6角ナット8mm-13 L (左ネジ) をねじ込みトルクロッドのマーク入り側に取り付け、反対側もロッドエンドSMR-8 (8mm正ネジ) 6角ナット8mm-13を同じ様に取り付けます。
- ロッドエンド突き出し寸法を同じ長さにセットして下さい。



- トルクロッドをフレームに取り付けたトルクロッドブラケットとキャリアブラケットにソケットキャップスクリュー8X25を用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 2.5 \text{ N} \cdot \text{m} (2.5 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



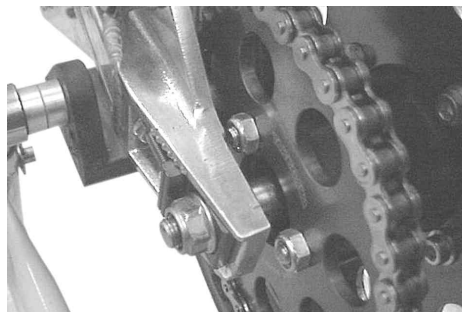
- キャリアブラケットにリヤーキャリアASSY.をフラッドヘッドスクリューを用いて取り付け締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 2.3 \sim 2.5 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(2.3 \sim 2.5 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



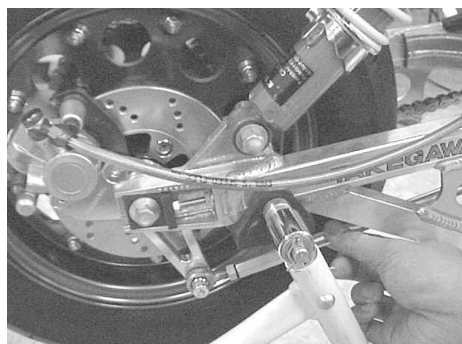
- リヤーブレーキホースCOMP.をバンジョー部にシーリングワッシャで挟む様バンジョーボルトを用いてマスターシリンダーとリヤーキャリアASSY.に仮付けします。



- ドライブチェーン調整をし、リヤーアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 4.0 \sim 5.0 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(4.0 \sim 5.0 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



- トルクロッドを回転させ、リヤーキャリア位置を調整します。



- フルボトムしてもブレーキホースCOMP.がつっぱらない様ホースを取り回し、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 1.3 \sim 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.3 \sim 1.5 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



- 他の部分とブレーキホースが干渉しない様タイラップで固定し、余ったタイラップは、ニッパー等で切り取ります。



- オイルカップCOMP.にリザーバタンクステアーをプレーンワッシャ、ボタンヘッドスクリューを用いて取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 1.0 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

- シートを取り外します。

- キャリアを取り外します。

- 当社製リヤーカウルキット取り付け車両は、リヤーカウルを取り外します。



- 当社製リヤーカウルキット取り付け車両はシートステーのタップ部にリザーバタンクステアーをプレーンワッシャ、ボタンヘッドスクリューを用いて取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 2.3 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

- キャリア取り付け車両は、キャリアが付いていたタップ部に、リザーバタンクステアーを取り付けます。

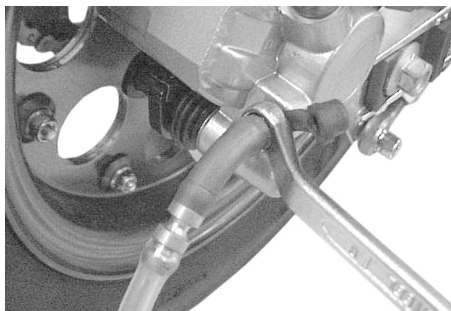


○オイルホースを取り回しを決めオイルホースをカットし、オイルカップのユニオンとマスターシリンダーCOMP.のコネクター部に取り付けホースクランプで固定します。



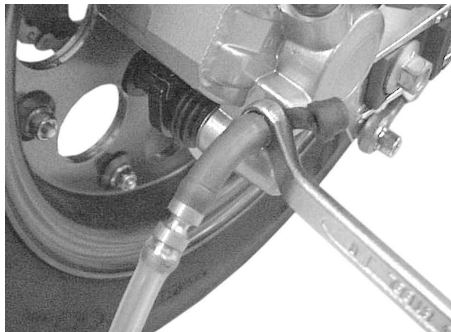
○オイルカップのキャップ、ダイヤフラムプレート、ダイヤフラムを取り外し、ブレーキフルードをオイルカップ上限線まで補給します。

⚠ 注意：ブレーキフルード振ったりして気泡を混入させないこと。



○リヤークャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップ等で受ける様にします。

○ブリーダーバルブを1/2回転緩めて、ブレーキペダルを踏み下ろす、放すを繰り返し操作し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの操作を繰り返します。



★オイルカップのブレーキフルード液量に注意して、新しいブレーキフルード液を補充しながら作業を行って下さい。

○リヤークャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。

1. ブレーキペダルを踏み下ろしたままにしてブリーダーバルブを1/2回転ゆるめた後、再び締め付けます。

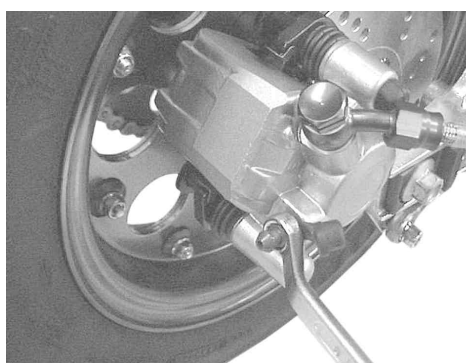
2. ブレーキペダルをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

○ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで1、2の操作を繰り返します。

★時々、ブレーキフルード液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

○ブリーダーバルブからエアが出なくなれば、ブレーキペダルを操作してエアの混入を確認します。

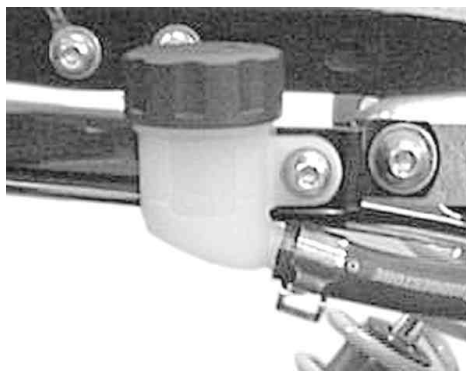
○エアの混入が無ければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



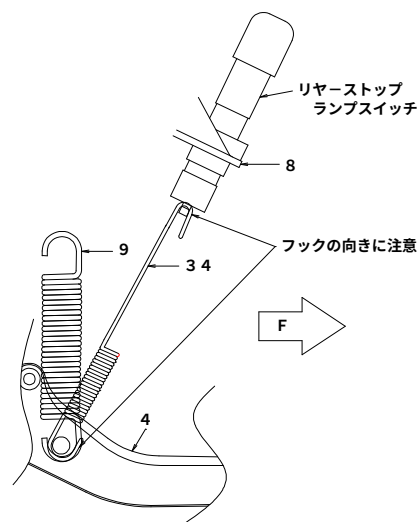
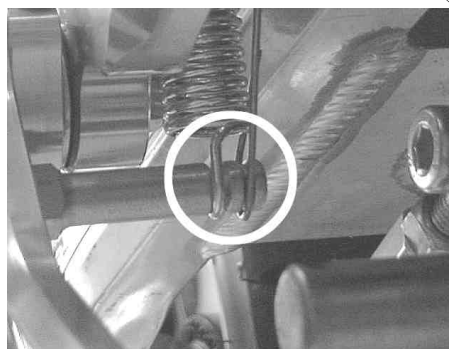
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

○オイルカップ上限線までブレーキブレードを補充し、ダイヤフラム、ダイヤフラムプレートキャップを取り付けます。



⚠ 警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないこと。万一付着した場合は、ブレーキパッドは交換し、ディスクローターは脱脂すること。



○加工した(34)スイッチスプリングを図を参照にして、フックの向きを車両前方になる様に、リヤーストップランプスイッチと(7)スプリングフック側の外側の溝に取り付けます。

○ブレーキペダルを踏み込んだ時のみブレーキランプが点灯する様リヤーストップランプスイッチを調整します。

○各部をもう一度規定トルクで増し締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守ること。

○当社製リヤークウルキット取り付け車両は、リヤークウルを取り付け、シートを取り付けます。

○キャリア取り付け車両は、リザーバータンクステータを取り付けていたボルトを取り外し、キャリアを取り付け、キャリアを取り付けている4本のボルトのうち1本をリザーバータンクステータと共締めしオイルカップを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 24 \text{ N} \cdot \text{m} (2.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

○シートを取り付けます。

○各部に付着した汚れをよく拭き取ります。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>